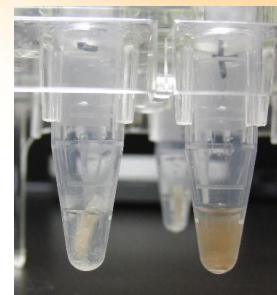


簡易プロトコール (マウス尻尾用)

1. マウスの尻尾 (0.5-1.2cm) を小さく刻んで、1.5mlのマイクロチューブに入れます。
2. サンプルに100µlのTail Lysis Buffer (TLA) と 20µlのProteinase K (PK)を加えます。
ボルテックス を10秒間行います。
3. チューブのキャップを閉めて、56°Cで1時間から一晩インキュベートします。
シェーカー付きのインキュベーターがない場合には、30分に一度くらい攪拌します。
4. 300µl のCell Lysis Buffer (CLD) と 20µl のRNase A Solution を各サンプルに加えます。
ボルテックス 10秒間行い、56°C で 10分間反応させます。
5. ヒートブロック等から取り出し、250µl の Binding Buffer(BBA)を加えます。
ボルテックス を10秒間行います。
組織が残っているような場合には、1分間遠心を行い、上清を次のステップに使用します。
6. ReliaPrep™ Binding Column をCollection tube にセットして、サンプルを加えます。
7. 最高速で1分間遠心します。液がカラムに残っているようであれば、さらに遠心します。
8. Collection tube に残ったフロースルーを廃棄し、カラムを新しいCollection tubeにセットします。
9. 500µl のColumn Wash Solution (CWD) をカラムに加え、最高速で2分間遠心します。
フロースルーを廃棄します。
- 10.ステップ 9 をさらに2回行います (合計3回のWashを行います)。
- 11.カラムを、新しい1.5mlのマイクロチューブにセットします。
12. 50–200µl のNuclease-Free Water をカラムに加えて、最高速で1分間遠心します。
13. 溶出したDNAは、短期間の保存の場合は4°C、長期間の保存の場合には–20°Cで保管します。



TLA+PK
56°C 2時間

